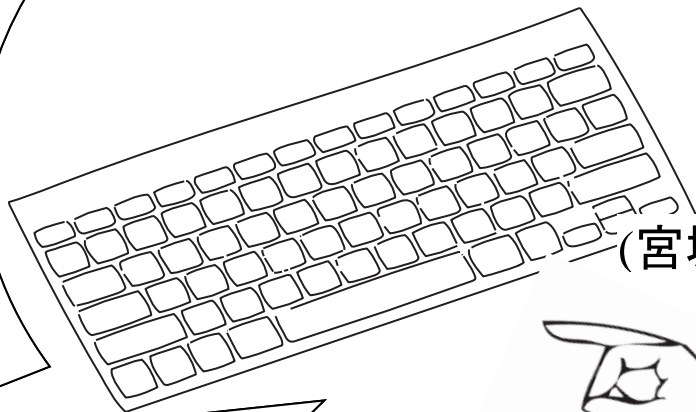


「つながる」を支えたい。

# パソコンボランティア 養成講座

(宮城県地域生活支援事業)



～主に、重度肢体不自由、視覚障がいがある方への、パソコン操作・学習支援～

障がい者福祉に理解と熱意があり、文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど情報通信技術について一定の知識・技能がある方(18歳以上)が受講対象者です。

神経難病等による肢体不自由児・者、視覚障がい者等の障がいがある方々のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術、知識、価値を学ぶ4日間の講座を行うことにより、パソコンボランティアを養成します。1日のみ受講希望の方も受講可能ですが、全講座受講者を優先させていただきます。



申込み受付、お問い合わせは下記まで  
(受付締切 定員になり次第締め切ります。)



社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
肢体不自由児協会事業

Tel 022-293-2902 Fax 022-291-1588

E-mail : [kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp](mailto:kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp)

ホームページ <http://kibounoko-miyagi.com/>

※不在時は留守電対応となります。

この養成講座では、上肢障害あるいは視覚障害があり書字が困難な方、言語障害があり言葉が話すことが困難な方にとっては、パソコン等ICT(情報通信機器)関連機器が、「人と人」、「人と社会」をつなぐ可能性がある大切な手立て(コミュニケーションツール)の一つであると考えて、これら機器の利活用を必要とする障害のある人の支援者を養成します。

期 間：令和3年8月28日(土)、9月12・26日、10月10日(各日曜日)  
**※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては延期させていただきます。**

時間帯：9時30分から16時00分

会 場：宮城県障害者福祉センター(仙台市宮城野区幸町4-6-2)

内 容：人権尊重・権利擁護など障がい者支援に関わる価値観の育成並びに以下の内容について座学あるいは演習形式で学びます。下記のプログラムを参照ください。

受講対象者：パソコン通信、Web、ワープロソフト等を日常的に利活用するなど情報通信技術に一定の知識・技術を有する方(18歳以上)。

- \* 情報保障あるいは移動介助等の配慮を求められる方は、当方が可能な配慮についてご相談ご確認の上、お申し込みください。
- \* 受講日2週間以内に他県の緊急事態宣言区域、まん延防止等重点措置区域への往来を予定されている方はご連絡ください。

定員数：5名(先着順。4日間の受講希望者を優先します。但し、上記受講対象条件を満たす方)  
 その他：受講日当日は、検温、マスク使用、手洗い履行等の受講条件に従っていただきます。  
 4日間を通して8割以上の受講と確認テストを修了された方には、宮城県知事の修了証が交付されます。

## プログラム

期 日	時間帯	内 容	講師所属団体等
8月28日	9:30～	オリエンテーション	宮城県障がい者福祉協会
(土曜日)	10:00～	社会福祉概論、障害者福祉概論等(講義)	〃
	13:00～	肢体不自由者とICT支援について(講義)	仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター
	14:15～	肢体不自由者支援機器(スイッチインターフェイス等)(演習)	東北福祉大学情報福祉研究室
9月12日	9:30～	肢体不自由支援の実際から(講義)	メイソリューション株式会社
(日曜日)	12:45～	肢体不自由者支援機器・ソフト(タブレット等)(演習)	みやぎ障害者ITサポートセンター
	15:30～	パソコンボランティアの体験談(視覚障害者支援)	パソコンボランティア
9月26日	9:30～	視覚障害者支援ソフト(演習)	仙台市視覚障害者福祉協会
(日曜日)	13:00～	コミュニケーションと自己覚知(演習)	相談支援事業所ぱるけあであらんて
10月10日	9:30～	AT・AACによるコミュニケーション支援(演習)	楽暮プロジェクト
(日曜日)	13:00～	まとめ、確認テスト、今後について(講義等)	宮城県障がい者福祉協会